

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[リカバリー方法](#)

[クラスA ファイル・システム・コマンド](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、ATM スイッチの LS1010 および Catalyst 8500 シリーズにおいて、破損した、または消失した Cisco IOS® ソフトウェア イメージを修復する方法について説明します。

Cisco IOS のコンフィギュレーション ガイドの「[システム イメージのロードと保守](#)」の章では、Cisco IOS を実行している全プラットフォームを対象として、ファイル システム管理について手順を追って説明しています。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

リカバリー方法

通常 ATM スイッチが ROMMON モードでアップすれば、ロードするべきかどのイメージをスイッチに言う `boot` コマンドを使用できます。ROMMON コマンドライン インターフェイス (CLI) が `dnld` コマンドをリストする間、それに、LS1010 サポートしません `xmodem` ダウンロードを注意して下さい。dnld コマンドは、この機能が移植された IOS ブランチから残されているものです。

```
rommon 10 > ? alias
external process break
```

```
set and display aliases command boot
set/show/clear the breakpoint confreg
```

```
boot up an
```

```

configuration register utility cont          continue executing a downloaded image context
display the context of a loaded image dev    list the device table dir
list files in file system dis              disassemble instruction stream dnld
serial download a program module frame      print out a selected stack frame help
monitor builtin command help [output omitted]

```

ブートフラッシュのイメージが破損するようになり、ATM スイッチが ROMMON に入れば、ネットワークファイルから手動で起動することができます。ブート <file path> <tftp サーバのIPアドレス> のようなコマンドを > 使用して下さい。

他の唯一の回復方法は、PCMCIA カードを使用することです。Cisco プラットフォームはクラス A、クラス B およびクラス C と指名される 3 つの [Flashメモリファイルシステムタイプ](#) をサポートします。LS1010 および Catalyst 8500 シリーズはクラス A ファイルシステムを使用します。ATM スイッチの PCMCIA カードがない場合、またクラス A ファイルシステムおよびフォーマットを使用するこれらのプラットフォームの 1 つからのカードを使用できます:

- Catalyst 5000 の Route Switch Module (RSM; ルート スイッチ モジュール)
- GSR Route Processor (GRP)
- Cisco 7500 シリーズ Route スイッチ プロセッサ (RSP) 2、4、か 8
- RSP7000

同じファイルシステムを使用するプラットフォームの PC カードを使用していることを確認するには、『[PCMCIA フラッシュカードのファイルシステム互換性対照表](#)』を使用してください。

ATM スイッチ用の PCMCIA カードは、他の RSP ベースのシステムまたは稼働中の ATM スイッチでフォーマットすることもできます。運用システムの PCMCIA カードをフォーマットし、それに `copy tftp slot0:` のようなコマンドによって適切なイメージをコピーして下さい。その後、PC カードを ATM スイッチの PC カード スロットに戻します。

以下の手順に従って、PCMCIA カード スロットからイメージをブートします。

1. PCMCIA スロットのデバイス名を判別する `dev` コマンドを実行して下さい。rommon 18 > `dev`
Devices in device table: id name bootflash: boot flash slot0: PCMCIA slot 0
slot1: PCMCIA slot 1 eprom: eprom
2. PCMCIA カードのファイルを表示する `dir` コマンドを実行して下さい。rommon 19 > `dir`
usage: dir <device> rommon 20 > `dir slot0:` File size Checksum File name
401756 bytes (0x80335c) 0x2a290d95 cat8540m-wp-mz_120-10_W5_18c.bin
3. `boot` コマンドを実行し、PC カード スロット番号および Cisco IOS イメージ ネームを規定して下さい。rommon 21 > `boot slot0:cat8540m-wp-mz_120-10_W5_18c.bin` Self decompressing the image : #####

PRIMARY CPU: Booting on Mar 23 2001
13:10:06 Cat8540 Diagnostics V1.4, Dated Aug 19 2000 00:54:12 Model ACTIVE CPU-Card,
Serial# MIC025006YD, H/W V5.5 Copyright (c) Cisco Systems Inc. 1999
..... Power-on Diagnostics Passed. Reading cubi
version..Done
まれに、これらのエラーメッセージが表示されるかもしれません:rommon 20 >
`dir slot0:` PCMCIA slot0 device is not initialized open: read error...requested 0x4 bytes,
got 0x0 trouble reading device magic number dir: cannot open device "slot0:"

これらのメッセージは、`directory` コマンドを実行したときに、ROMMON によって不正または予期しないチェックサムが検出されたことを意味しています。この問題を修正するには、次のようにします。

- PC カードを他のシステムで読み込みます。
- PC カードを、他のシステムで稼働することが分かっているカードと交換します。
- 必要ならば、運用システムのカードをフォーマットし直し、それに `copy tftp slot0:` のような

コマンドによって適切なイメージをコピーして下さい。その後、PC カードを ATM スイッチの PC カード スロットに戻します。

クラスA ファイル・システム・コマンド

ファイルの消去、削除、および回復に使用する方法は、ファイルシステムのクラスによって異なります。クラス A ファイルシステムはこれらのファイル管理コマンドをサポートします:

- delete - ファイルに削除「マーク」が付けられますが、ファイルは引き続きフラッシュメモリのスペースを占有しています。undelete コマンドを使用すると、後でそれらのファイルを回復できます。
- squeeze - 「削除」マークが付いたすべてのファイルを、指定したフラッシュメモリデバイスから完全に削除します。それらのファイルは、回復できません。PCMCIA カード上のフラッシュメモリ領域の大部分を消去して書き換える必要がある場合は、スクイーズ処理に数分かかる場合があります。
- format - フラッシュデバイス上のすべてのファイルを消去します。
- verify - フラッシュメモリ内のファイルのチェックサムを再計算して検証します。

関連情報

- [ATM テクノロジーに関するサポート ページ](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)